

# 営農ウィークリーNEWS

## イネカメムシ

### 全国各地の水稲圃場内で確認されています!!

2018年に京都府で注意報が発表され、2020年には、当JA管内で確認されているイネカメムシ。

今年も、全国的に水稲圃場内での発生が確認されています。

イネカメムシは、本州、四国、九州、西南諸島などで分布するイネ科植物の害虫と知られています。体調は12~13mmで、4月頃から越冬地で活動を開始し、水稲の出穂前から本穂に侵入することもあります。

早生品種では走り穂が出ると本田への侵入が始まり、吸汁加害します。

イネカメムシは、斑点米を発生させるだけでなく、出穂期に籾の基部や茎の加害により不稔を生じさせ、減収となる恐れのあることが知られています。

国内では、生息地や被害が拡大傾向にあり、今年6月に茨城県、千葉県、埼玉県、山口県の早生品種の本田すくい取り調査で、数頭捕獲されています。



イネカメムシによる  
基部が吸汁された斑点米被害粒

管内では、昨年、本田すくい取調査で、初めて平坦地で確認されており、西南部地域、北部地域でも確認されています。

早生品種だけでなく、晩生品種「ヒノヒカリ」や「にこまる」においても注意が必要です。

出穂期初期に本田への侵入することが知られていることから、イネカメムシにおいては、**出穂前**より防除を行ってください。

## 水稲の生育状況を

### 確認してください!

本年は、梅雨入りが例年になく遅く、短期集中型の梅雨を発表されていましたが、予報通りとはならず、引き続き異常気象と思われます。日照不足の影響により、水稲は緩やかに生育しており、生育不良の水田では、硫安の散布など直ちに回復に努めてください。

※過度の硫安散布は、いもち病を誘発させてしまいますので、ご注意ください。

—TAC information—



関係各位

京都府病虫害防除所長  
( 公 印 省 略 )

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

病虫害発生予報第 5 号 ( 7 月 )

予報の概要

作物名	病虫害名	予想発生量 <平年比(前年比)>
イ ネ	葉いもち	多 (並)
	紋枯病	やや少 (やや少)
	セジロウンカ	並 (並)
	ツマグロヨコバイ	並 (多)
	斑点米カメムシ類	並 (やや少)
ダイズ、 アズキ	アブラムシ類とウ イルス病	やや少 (やや少)
ナ シ	黒斑病	並 (やや少)
	黒星病	やや少 (少)
	ハダニ類	並 (多)
ブドウ	べと病	並 (並)
カ キ	うどんこ病	やや少 (並)
カンキツ	ハダニ類	やや少 (並)
果樹全般	カメムシ類	多 (多)
チ ャ	炭疽病	山城 並 (並)
		丹波 多 (多)
		丹後 多 (多)
	チャノコカクモ ンハマキ	山城 並 (少)
		丹波 少 (少)
	丹後 やや多 (やや多)	
チャノホソガ	山城 多 (多)	
	丹波 やや少 (少)	
	丹後 やや少 (少)	

作物名	病虫害名	予想発生量 <平年比(前年比)>
チ ャ	カンザワハダニ	山城 並 (やや多)
		丹波 やや多 (やや多)
		丹後 少 (並)
	チャノキイロア ザミウマ	山城 やや多 (やや多)
		丹波 並 (やや多)
		丹後 やや多 (やや多)
チャノミドリヒ メヨコバイ	山城 やや多 (並)	
	丹波 並 (やや多)	
	丹後 やや多 (やや多)	
クワシロカイガ ラムシ	山城 多 (多)	
	丹波 やや少 (やや多)	
	丹後 少 (やや少)	
果菜類	疫病・褐色腐敗病	並 (並)
	うどんこ病	並 (やや多)
	アブラムシ類と モザイク病	やや少 (やや少)
	アザミウマ類	並 (やや多)
	ハモグリバエ類	並 (やや多)
ウリ類	べと病	並 (やや多)
	炭疽病	やや多 (やや多)
キュウリ	斑点細菌病	やや多 (やや多)
ネギ	ネギアザミウマと	並 (やや多)
	ネギえそ条斑病	やや少 (やや多)
	ネギハモグリバエ	やや少 (やや多)
野菜全般	ハダニ類	並 (やや多)

※平年とは過去 10 年の平均である。

目 次

予報の概要 .....  
 予報本文 .....  
 今後注意すべきその他の病虫害等 .....  
 参考  
 I 近畿地方の気象の 1 か月予報 ..  
 II 用語の定義 .....  
 III 予報本文の見方 .....

1 農作物病虫害情報サービス  
 2 ホームページ  
 16 <https://www.pref.kyoto.jp/byogai/>



19  
 19  
 20